

# 里美岳苑 北海道駒ヶ岳トレッキングと道南ツアー

作成 里美岳苑広報担当 S.T生

2017年7月17日

山岳同好会「里美岳苑」は毎年1回メイン行事として海外の山々のトレッキングを行ってきた。しかし当岳苑メンバーの平均年齢約75歳と高齢化傾向著しく、海外遠征トレはリスクが伴うために本年(H29)のメイン行事として北海道駒ヶ岳トレッキングをメインにした3泊4日の道南地方観光ツアーを実施した。本ツアー催行にあたっては計画・実行のための担当者をきめ 事前に現地状況(宿舎等)の把握、交通手段を十分なほど調査して実施に及んだ。また参加者全員には ひたちなか海浜公園でトレッキングと事前説明会を行った。

4日間共天候に恵まれて、ひとりの落伍者もなく楽しいトレッキングを催行することができた。

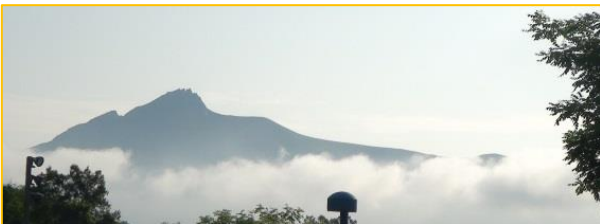
- 1、開催期日 2017年6月27日(火)～30日(金) 3泊4日
- 2、行先 北海道道南地方 大沼国定公園・函館方面
- 3、参加者 里美岳苑 岳友 25名 (女:13名 男:12名)
- 4、交通手段 JR東日本 常磐線特急(日立⇄東京) 東北・北海道新幹線(東京⇄新函館北斗)  
JR東日本:大人の休日倶楽部パス 東日本・北海道乗り放題活用 5日間有効 26,000¥  
現地での移動;ホテルのシャトルバス、電車、市内バス等
- 5、宿泊: 6月27,28日(2泊) ホテルグリーンピア大沼(温泉) 大沼公園近く  
6月29日 (1泊) 湯の川観光ホテル祥苑(温泉) 函館市湯川町
- 6、行程

1日目 6月27日(火) 天候 晴れ

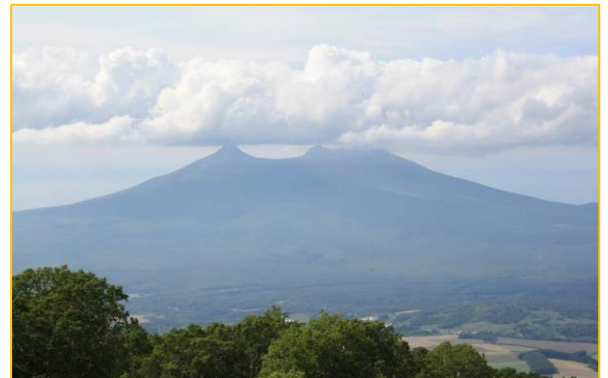
日立駅発(7:01)→勝田駅(7:15)→東京駅 乗換 東北北海道新幹線発(9:36)→新函館北斗着(13:36)

無料シャトルバスで大沼公園七飯(ナナエ)へ移動・ゴンドラで山頂駅へ 山頂散策路お歩きながらお花や、明日登る駒ヶ岳や遠方に見える羊蹄山等展望を楽しんだ。散策終了ゴンドラで下り シャトルバスで今夜の宿に向かった。

温泉に浸かり今日一日の疲れをとり待望の会食に臨んだ。



早朝 宿から臨む駒ヶ岳 (今日は天気が良いぞ!!)



七飯山頂散策路から臨む北海道駒ヶ岳  
散策路で落の葉を傘にして歩く

2日目 6月28日(水) 天候 晴れ

2日目の行動は 駒ヶ岳トレッキング組、大沼公園散策と駒ヶ岳をトレインで1周する組に分けて行動する。(岳友のツアーの楽しみ方を考慮して)



2日目朝ホテルグリーンピア大沼 正面入口にて全員



全員ホテル前で記念写真撮影後ホテルのバスでそれぞれのスタート地点まで移動する。大沼公園駅で散策組は下車。登山組(18名、平均年齢74歳)はバスで駒ヶ岳6合目(標高約500m)の第1駐車場に向かう。登山届を提出、準備体操後、リーダーN氏 Y氏の



リードで9合目の馬の背(標高約900m)目指しトレッキングを開始する。(尚9合目以上は活火山のため立ち入り禁止となっている。登山道は整備されているが石ころがあり滑りやすく、足元に注意して登る。途中2回の休憩をとり約1.5時間位で登れた。

眼前には主峰剣ヶ峰(標高:1131m)がそびえていた。見下ろすと大沼池が太陽に照らされ池の湖面がきらきらと輝いていた。30分程度休憩し下山する。小さな石ころの道なので滑らないよう注意を払い歩くが何人かは足を滑らす人もいた(大事に至らない) 1時間程で6合目駐車場に戻る。

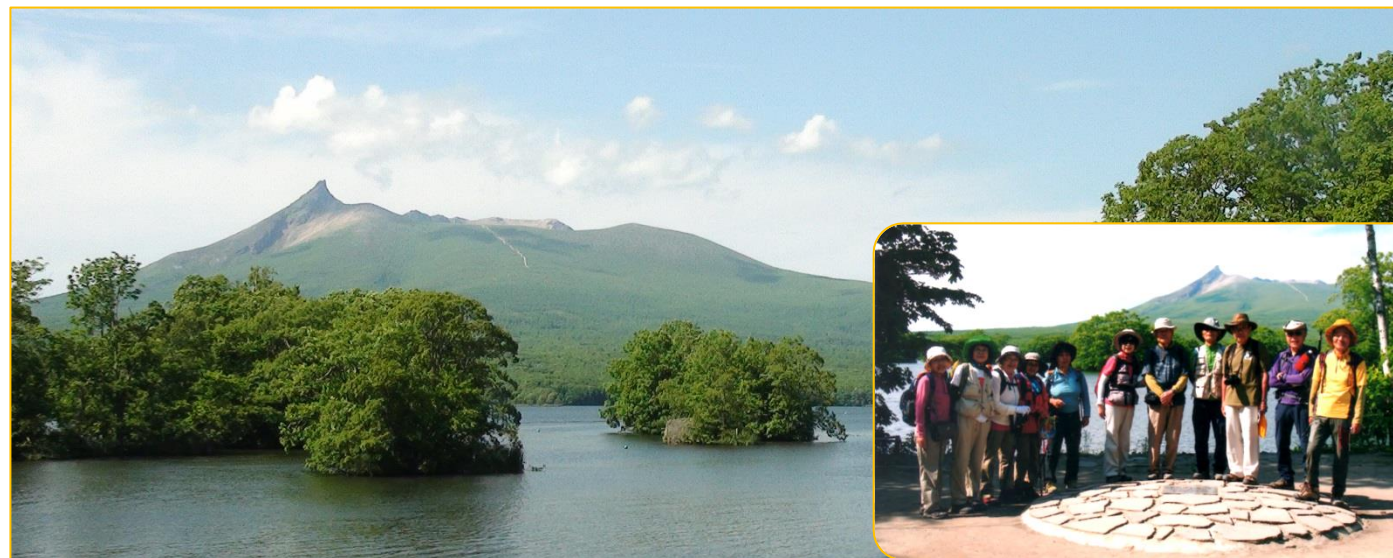


6合目第1駐車場 駒ヶ岳主峰剣ヶ峰を望む

左上主峰 剣ヶ峰を臨みながら石ころの道を登る(足元注意)



主峰 剣ヶ峰(1131m)を背景に馬の背(標高:約900m)で全員写真 天候良く 満足の笑顔(この先はロープが張られ立ち入り禁止) 第1駐車場で待ち合わせていたバスに乗車し 大沼公園内の食堂で昼食後大沼公園島めぐり組とサイクリング組に分かれて公園内を散策する。サイクリング組はレンタルチャリンコで大沼池一周、島めぐり散策組はのんびりと大沼池に点在する小島からの駒ヶ岳の雄姿を堪能した。



大沼池と駒ヶ岳主峰剣ヶ峰の雄姿

中央に白い帯のように登山道が見える

(千の風記念碑で)



大沼池散策と函館本線によるトレイン周遊（7名）所用時間 約 2.5 時間

大沼池散策後函館本線により駒ヶ岳周囲を1周、場所により変化する駒ヶ岳の山容等を眺める。



函館本線路線周遊経路（大沼駅発→大沼駅戻り）

森駅から見る駒ヶ岳



函館本線車両

西側より見る駒ヶ岳



山容が何故か 裏磐梯から見る磐梯山にみえる



3日目 6月29日(木) 天候 晴れ

函館市内観光 朝市及び五稜郭観光 函館山からの夜景見学

ホテルからバスで大沼公園駅へ移動、列車にて函館駅へ 駅付近朝市等散策する。各自昼食後 駅前よりバスで五稜郭に移動、2人のボランティア観光ガイドの案内で五稜郭タワーに案内され幕末の函館の歴史について説明を受けた。その後函館奉行所の見学。(約3時間)

タワーより望む五稜郭と函館市街



函館駅前

(函館駅前通りの花)



朝市風景

(朝市散策後海鮮丼を食す)

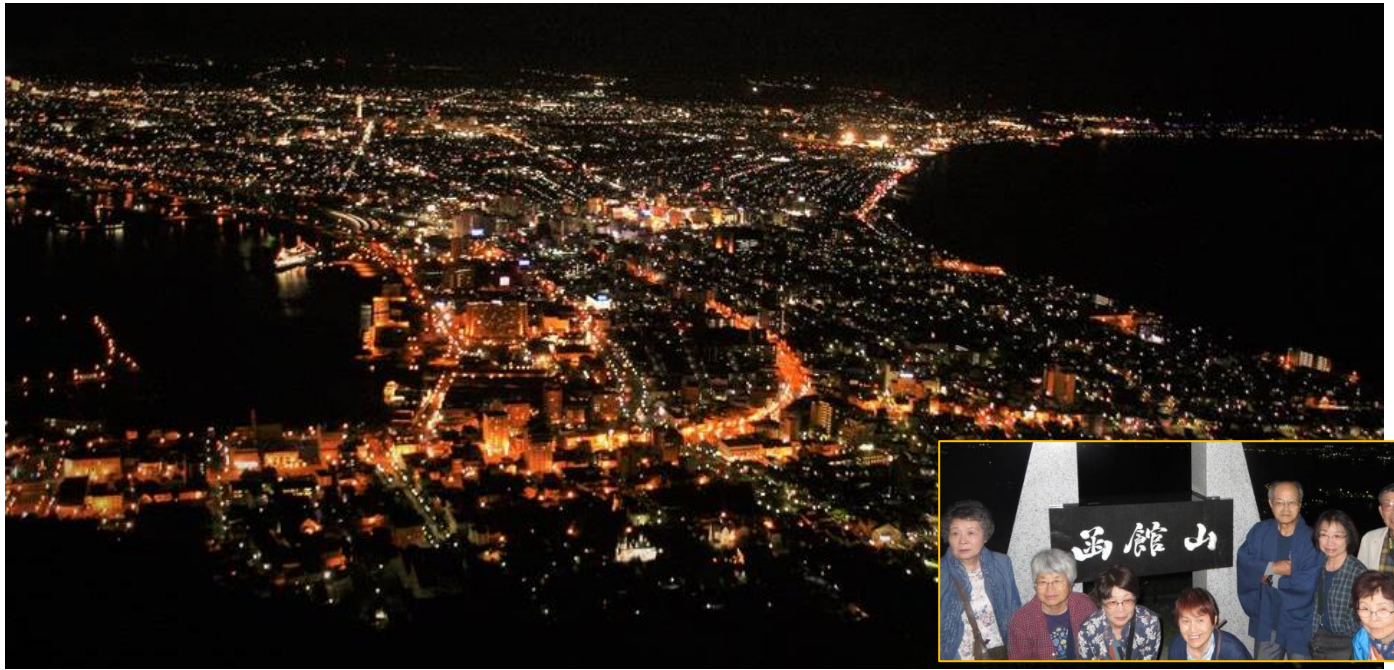


五稜郭見学後バスにて湯の川観光ホテル祥苑に移動、夕食はバイキング方式で外国（主に台湾、東南アジアと思われる）からの大勢の観光客が訪れ混雑していた。

夕食後希望者のみ函館山に向かい百万ドルの夜景を見学する。ホテルからの移動はホテルのバスと函館山ゴンド



ラ使用で計画していたが混雑が予想されたので往復ともタクシーを利用することに急遽変更した。この変更が功を奏し何のトラブルもなく移動できた。案の定函館山頂上は多くの人出混雑し迷子になりそうな状況であった。お蔭で写真のような素晴らしい夜景を堪能する。

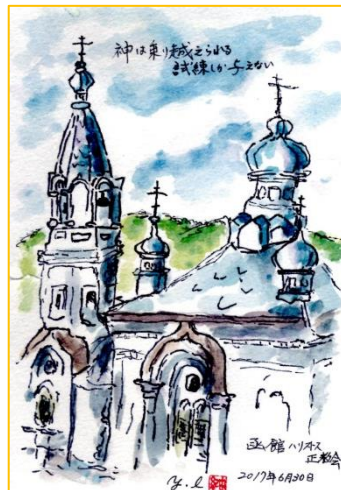


函館山から見る函館市の夜景(世界三大夜景に挙げられる) 素晴らしいですね！(岳友I氏撮影)

4日目 6月30日(木)晴れ

函館市内(主に元町)観光

元町近辺の坂を上り教会群(ハリストス正教会他),旧函館区公会堂等を見学する



赤い靴の像(赤い靴はいてた女の子)

イギリス領事館から函館山を見る 岳友Iさんが描いたハリストス教会



函館元町八幡坂から見た駒ヶ岳

【帰途】

函館発(13:51) → 新函館北斗駅 新幹線発(14:44 発) → 上野着(18:58)  
乗換常磐線特急発(19:30) → 勝田着(20:56) 普通乗換日立着(21:40)  
北海道新幹線の旅は快適でした。

※ 尚本行事の企画・立案は当岳苑「T岳頭」によるものである